原村議会議員一般選挙公報

平成31年4月21日 執行

原村選挙管理委員会

憲法改悪、消費税10%STOP！

日本共産党

伊藤 たつひろ

立洋

●子育て日本一の原村に！

●高すぎる国民健康保険税の引き下げを！

●高齢者の医療費無料制度を守ります。

●基幹産業である農業と観光への支援を強化します。

●放置された森林を有効な資源として活用します。

●自然災害への備えを住民参加ですすめます。

皆さんの声を村政に届けます

1958年生まれ
原山在住
愛知で議員や介護職員を務め、現在は悠生寮で働いています

無所属

松下 浩史（まつした ひろし）

49歳

- 活力ある村づくり -

「若い人であふれる村にしたい」そんな思いを持っています。福祉や子育て支援など、村の重点施策の充実は村に力があってこそです。この村を築いたみなさんのご苦労に報い、10年、20年先の誰もが幸せに暮らせる原村をつくっていくのは若い人の力です。原村でチャレンジする人を応援し、活力ある村づくりに取り組みます。

■産業振興

若い人たちが活躍するには安定した生活基盤が必要です。地域に働ける場所があることは大切なことです。原村を支える力の源である地元産業を応援します。

■モノ・コトづくり

高原野菜・豊かな自然・文化など原村には多くの魅力があります。更なる活性化には魅力を具体的な形にし、村の力にすることが必要です。農産物の商品化や自然・文化を守り、楽しむエコツーリズムなど、原村の魅力を活かすモノ・コトづくりを応援します。

■ヒト・モノ・コトをつなぐ

「諏訪」や「八ヶ岳」をキーワードに地域連携が進められている中で、原村が存在感を示すには、個人戦ではなく団体戦です。原村のヒト・モノ・コトをつなぎ、大きな力とし、原村がキラリと輝くための活動を応援します。

宮坂さなえ（みやさか）

（原村在住27年）

みんなで創る未来にむけて
希望と安心と温かさのある暮らしの実現を

希　望

未来を担う人材育成
○産業後継者の事業継承、新技術導入支援　○温暖化に対応した栽培支援
○人材バンクの設置、地域内経済の循環　○子育て支援（教育費負担軽減負担など）

観光圏の連携と交流
○八ヶ岳と諏訪観光圏が連携した交流イベントと関係人口の増加
○公式戦が行える少人数スポーツ施設の設置

安　心

健康で自分らしく暮らせるように
○多様な世代の働く環境を支援します
○医療費の全世代型支援（乳がん治療費補助など）

美しい景観と持続可能な環境であるために
○自然と調和した自然エネルギーのあり方と条例制定　○リフォーム支援
○節電、省エネ、ゼロウェイストで持続可能な社会の構築

防災整備
○自然災害・森林火災に対応した伐採・植林と新しい消防団拠点整備
○地域内で自立したエネルギーの実現と防災リーダーの育成

温かさ

15地区の人と人とのつながりと住民協働を大切に、誰一人困っていると感じる事のない温かさのある、幸せだと感じることのできる社会の実現。

住民の皆さまと一緒に創る未来にむけて「働く議員」として前に進みます。

https://www.facebook.com/sanae.miyasaka.54

選挙事務所
設置場所　払沢5704－1　パパゲーノさん横
設置日時　4月16日～20日　設置時間　8：00～18：00
後援会長　永田せつ子　事務局長　小倉佳美

平出としひろ

一　こどもは宝　本気　やる気　子育て支援

二　原村の発展と、明るく住み良い社会を目指します。

三　誰もが健康で暮らせる村を目指します。

四　大規模停電の教訓からいつ起こるか解らない自然災害にそなえた防災・減災対策に取り組みます。

五　行政の施策が本当に村民のためになっているのか、問題や影響はないかをチェックし地域の要望を聞き法令や制度を検討しその実現に頑張ります。

住みたい原村
住んで良かった原村に
～経験を活かし、2期目に臨む～

☆生産性を高める農業振興
・やる気が湧く農業の補助事業の拡充
・農道整備・農業基盤整備の向上

☆安心・安全な生活のための福祉の充実
・高齢者福祉の充実
・健康・安心な医療の充実

☆より良い教育・子育てのための環境整備
・幼・小・中の教育環境づくり
・子育てしやすい社会環境づくり

☆人の流れを呼ぶ観光づくり
・中央高原の活力ある観光づくり
・日本一美しい村を活かした観光づくり

☆防災・減災に強い村づくり
・自主防災組織の充実
・良くわかる防災システムづくり

よしざわ清人（きよと）

中村こうへい

「世の中は不平等」と言われています。だからこそ政治は、「公平で公正」でなければなりません。

私は、弱い立場の方々のために、とことん 働き（闘い）ます。

若者と地域をつなぐ!!
原村育ち 34歳

原村の現状

2040年　原村の高齢化率は40.6％（国立社会保障・人口問題研究所による推計）

生産年齢人口は53.1％（2018）→48.6％（2040）（15歳～64歳）　年少人口は13％（2018）→10.6％（2040）（14歳以下）

今後、原村を支える要となるべき若い世代が減少していきます。

私たちのふるさとを未来に残していくためにこの若い世代の力が必要不可欠です。

当事者世代の議員としてみなさんのために**若者と原村をつないでいく政治を行ないます。**

若者が活躍し活力ある原村に

若者の参画するむらづくり

●若者の声を村政へ
定期的に若い世代が村の施策や課題について共に学び意見をまとめる場をつくり、若者の声を村政へつなげます。

産業の活性化

●観光を軸とした活性化
村内の産業と観光をつなげ、村全体での産業の活性化を図ります。

●新規事業の応援
新規事業を行なう若者に対しての相談や立ち上げ支援を行います。

●人手不足・後継者問題の解決
原村の産業の魅力発信と、産業の支援で人材を増やし人手不足・後継者問題を解決します。

利用しやすい公共交通の実現

●新たな公共交通
路線バスの効果的な運行はもちろん、デマンド交通や住民同士の送迎サービスを充実させます。

若者がつくる福祉の村

●共助のむらづくり
村民が助け合い、子どもからお年よりまで安心して暮らせる原村にするために、若者を中心に分野を超えた人材バンクをつくります。

充実した子ども子育て支援

●子ども・子育て支援センター
安心して子育てができるためのセンターの設置はもとより、利用する保護者の活躍の場ともなるよう支援を行ないます。

●原村の定住につながる子ども支援
子ども達が将来原村に住みたいと思うためには地域とのつながりと郷土愛を育むことが必要です。そのために安心して過ごせる地域内の子どもの居場所や中高校生がむらづくりに参画できる仕組みを作ります。

将来へとつなぐ財政

●若者の定着による財源強化
若者が活躍できる村を内外にアピールすることで、若者の移住・定住を促進し税収を向上させます。

●将来へとつながる予算づくり
限りある財源を有効に利用するため、これまでの継続ではなく、本当に将来に必要かどうかを選択していきます。

プロフィール
・1984年9月1日生まれ　34歳
・原小学校、原中学校、茅野高等学校卒
・信州大学　工学部情報工学科卒
・NPO法人ちゃいるどふぃっど代表理事
・原村観光連盟理事
・原村子ども子育て支援センター検討委員

半田ひろし（はんだ）

百瀬かとく（ももせ）

活力ある村を目指して

1、子育て支援
（未就学児とその親を含めて小学生まで、居場所や情報交換の場整備）

2、男女共同参画の推進

3、高齢者が安心して住める村づくり
（介護、医療、健康、学習、買物足等それぞれ支援）

4、防災対策で、地域の安全づくり

5、生活基盤の安全づくり
（道路・水路の破損個所の整備や補修）

6、農業・産業振興や生活弱者への応援

7、スポーツ振興の応援

以上取り組みます。

（この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま印刷したものです。なお、掲載の順序は、くじで定められたものです。）

原村議会議員一般選挙公報

平成31年4月21日 執行

原村選挙管理委員会

女性の感性を生かして元気ある原村へ

女性の意見を生かした住みよい村づくり
子育て経験を生かした政策を

起業支援とその後のサポート
女性や個人事業主の皆様へ

通年観光を目指す　冬でも原村へ

移住促進とその後のケア
地元住民との交流、コミュニティー作り

農商工観のバランスのとれた村政を

さそう りえ

47歳

経歴：　1971年原村室内生まれ・諏訪二葉高校卒・富士短期大学卒・オリックスオートリース（株）勤務・小田急フローリスト勤務・アルル経営・『星空のイルミネーション』実行委員長・『クラフトでつながる村づくり 手仕事のぬくもりをつなぐ村づくり』実行委員長・原村観光連盟副会長及び理事・原村商工会青年部・原小学校PTA副会長・諏訪二葉高校PTA副会長・東海大学付属諏訪高校PTA副会長・原小中学校読み聞かせボランティア　カントリー・マアム会長

森山岩光（もりやま いわみつ）（中新田）

活力のある、安心して暮らせる村づくりを目指します。

○基幹産業である農業と商工業、および観光の連携をはかり、地域経済の振興につとめます。

○高齢者・子育て支援など、医療・福祉の充実につとめます。

○防災減災対策の充実をはかり、安心して住み続けられる村づくりにつとめます。

北原たかほ

原村の歴史を大切に、現在を直視し、将来を描く
若さと政策と実行力の北原です

＜政策１＞
「若者が住みたい・帰って来たい村」
「お年寄りが安心して住める村」
・ＵＪＩターンの促進（特にＵターン）
・子育て支援策の拡充
・一人暮らしのお年寄りへの見守り
＜政策２＞
農、観光、建設、商工業振興と創業推進
・職住接近の暮らしができる原村へ
・原村の労働力で原村で生産する産業の育成
・地域内で経済が循環する仕組みづくり
＜政策３＞
経営の視点を村政に
・財政基盤を強化し、より豊かな原村へ
・労働力人口の流出を食い止める施策
・原村の将来像、長期ビジョンの制定

きたはら　たかほ　昭和５０年生　４３才
払沢の代々山に携わる家系に生まれる
原山岳会会員・山岳ガイド・救助隊員として
ＮＨＫ「八ヶ岳」出演、茅野警察署長表彰など
中小企業診断士、同県協会理事・青年部長
諏訪清陵高、信州大、ＢＢＴ大（院）卒

投票日は

4月21日(日)です

投票時間
午前7時から午後8時まで

当日都合の悪い人は期日前投票（不在者投票）をしましょう

期日前投票

投票期間　4月17日(水)～20日(土)
投票時間　午前8時30分から午後8時まで
投票場所　役場３階　議員控室

描こう 明日の村づくり!!

新時代に躍進を続けられる原村に!!

◎評価される社会福祉策を維持できるよう、強い財政基盤を築きあげ、活力ある村づくりを目指します。

①基幹産業（農業）支援策
入り口（新規就農者支援など）から奥行きの広い施策
（リーダー支援・ＡＩ活用など）まで提案していきます。

②観光振興
歴史（縄文）遺産も含めた観光資源を活かしていきます。

③人づくり事業
実効性のある新規事業の提案や対象者の拡充を図ります。

④議会改革
住民との対話を増やし住民に寄り添った議会を目指します。

無所属

阿部やすかず（あべ やすかず）

63才

宮坂紀博（みやさか のりひろ）

住みやすく 活力ある村に

～小さなコミュニティーから始まる　安全・安心な村づくり～

防災・減災
- 住民参加型で災害に強い村へ
- 学生消防団員奨学金　○音楽隊
- 通学路の歩道設置

景観育成
- 美しい自然・環境に配慮した豊かで快適な村づくり
- 健全な都市計画策定

福祉の充実
- 持続可能な社会保障の整備
- 子育て・社会教育への支援拡充

産業創造
- 魅力溢れる観光と農業の融合
- 働きやすい労働環境の整備

【プロフィール】
昭和44年2月　原村に生まれる（50才）
東海大学第三高等学校卒業　東海大学工学部建築学科卒業
住友林業株式会社　住宅事業部
現職：有限会社宮坂工務店 代表取締役
妻・長男（大学1年）・長女（中学2年）
東海大学吹奏楽研究会　第31期主将
中新田区　区会議員　祭典委員長
原村消防団　喇叭長　第4分団長
一級建築士

（この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま印刷したものです。なお、掲載の順序は、くじで定められたものです。）